

基本評価シート

(愛媛県県民環境部 環境局 自然保護課)

基本評価シート（イノシシ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和6年度 愛媛県指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（イノシシ） 調査業務		
	令和6年度 指定管理鳥獣（イノシシ）捕獲等委託業務		
都道府県名	愛媛県	担当者部・係名	県民環境部環境局 自然保護課 生物多様性係
担当者名	上野・吉川	担当者連絡先	089-912-2368
捕獲実施事業者	（一社）愛媛県猟友会 （認定を受けている・ 受けていない）	予算額（※2）	20,489,000 円
		予算額の内捕獲 に要する経費 （※3）	10,350,000 円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取り組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
25 頭	20 頭	80%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
54,611 頭（令和5年度）	33,000 頭	農作物被害額を H5 年度 レベル(1 億円)に抑える。
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害等)	許可捕獲（個体数調整）
4,190 頭（令和5年度）	19,622 頭（令和5年度）	4 頭（令和5年度）

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

県単独事業による個体群管理の取組みは実施していない。

2. 令和6年度愛媛県指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	国は「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」を取りまとめ、平成23年度末の推定個体数を令和10年度までに半減させることを目指しており、本県の「第5次イノシシ適正管理計画」では、農林業被害額を約1億円に抑えることを目標とし、主に市町の有害鳥獣捕獲許可により年間33,000頭を目標に捕獲に努めている。令和5年度には年間54,611頭を捕獲し、目標は達成されている。継続した目標達成につなげるためにも、農地等における捕獲圧の強化に努める。 また、県では、環境省交付金を活用して5kmメッシュごとの生息個体数推定の調査を実施しており、調査結果を基に、有害鳥獣捕獲が進んでいない自然公園や県有林内等の自然環境被害や人身被害を防止するため、第5次愛媛県イノシシ適正管理計画特定計画でも、「指定管理鳥獣捕獲等事業」の実施により県が主体となって捕獲を進めることとしている。 ☒ 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 ☐ 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 ☐ 効果的な捕獲手法の開発を行なった。
人材育成の観点	☒ 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和6年9月6日～令和7年3月15日 （うち、捕獲作業を行った期間10月30日～2月28日）
実施区域	[今治市（今治市湯ノ浦付近）] 

関係機関との協力	関係市町と情報共有を図るとともに諸手続き等を適切に行い、協調性を保った業務を実施している。
事業の捕獲目標	(80 %達成) = (20 実績値) / (25 目標値)
捕獲手法	【銃猟】 ☐ 誘引狙撃 ☐ 巻き狩り ☐ 忍び猟 ☐ モバイルカリング ☐ 夜間銃猟 ☐ その他 () 【わな猟】 ☒ くくりわな ☐ 箱わな ☐ 囲いわな ☐ その他 ()
捕獲個体の確認方法	☒ 個体の身体の一部（耳、尾など） ☒ 写真（個体の頭部を右側に置き、番号を胴体にペイント） ☐ その他 ()
捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について ☐ 全て焼却又は埋設を行っている。 ☒ 一部、食肉等への活用を行っている。 ☐ 一部、放置を認めている。
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について ☐ 錯誤捕獲の情報を収集している。 ☒ 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について ☐ 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容： ） ☒ 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について ☒ 鳥類の鉛中毒症例がない。 ☐ 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について ☐ 全て鉛製銃弾を使用している。 ☐ 一部、非鉛製銃弾を使用している。 ☐ 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	・事業実施区域周辺に、立入り禁止や注意を促す標示をした。 ・事業を実施する際の安全管理体制について今治市と確認し合った。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 [wana猟] 捕獲従事者 4 名

3. 令和6年度愛媛県指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価： 捕獲目標頭数 25 頭に対し実績は 20 頭であり、目標には達しなかった。

	改善点：捕獲箇所と実施時期を見極め、目標を設定する必要がある。
【実施期間】	評 価：人材確保による調整・準備、有害鳥獣との棲み分け等の調整により実施準備に時間を要した。
	改善点：委託契約締結を早め、捕獲実施の日数を可能な限り延長することにより捕獲成績を向上させる必要がある。
【実施区域】	評 価：公園内への訪問者の安全に配慮し、また公園内の実情を踏まえた捕獲方法や捕獲実施期間について検討する必要がある。
	改善点：イノシシの出没頻度が高い地区を絞ることで、効果的・効率的な捕獲実施につなげる必要がある。
【捕獲手法】	評 価：公園内の安全に配慮し、くくりわなによる捕獲を実施した。
	改善点：くくりわな以外のわなとの併用も検討する。仮に箱わな等での捕獲を実施する際には、給餌が必要になるため、入札時期を早め、事業実施期間を長くする等の配慮が必要である。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評 価：くくりわなによる捕獲は原則2人以上の捕獲従事者を確保した。
	改善点：今後も継続して実施する。
【個体処分】	評 価：埋設、焼却等により適切に処分した。
	改善点：今後も継続して実施する。なお、自家消費する場合は、捕獲従事者が適切な処置を行うよう徹底する。
【環境配慮】	評 価：捕獲物の放置を行わず、適切に処分する。
	改善点：今後も継続して実施する。
【安全管理】	評 価：上記「実施体制」により捕獲従事者が安全に実施した。
	改善点：今後も継続して実施する。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
4. 全体評価	
指定管理鳥獣捕獲等事業によるイノシシの捕獲は、今年度で4回目となるが、前々、前年度とは異なる場所での実施となった。今年度の実施個所については、推定生息数の多い今治市に係る自然公園であり、市街地出没個体の抑制も期待した上での場所選定だった。今回の実施従事者については、昨年度と同じ従事者であり、委託業者の従事可能者のうち、地元に住む従事者を中心の体制で実施した。少人数での実施となったため、従事者に負担がかかった部分もあり、県内全体での認定鳥獣捕獲等従事者の育成が課題と考える。ただし、目標頭数には達していないものの、昨年度より捕獲頭数は増加し、捕獲効率も高くなった。令和3年度からの実績としては、過去最高の捕獲頭数及び達成率となった。今回の実施従事者については、委託業者の従事可能者のうち、地元に住む従事者を中心に少人数の体制で実施した。来年度以降については、現在実施している狩猟及び被害を防止するための許可捕獲による捕獲について、効率的な捕獲を進め、県内の個体数管理に資することとしている。	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業における捕獲頭数は、狩猟、市町の有害鳥獣捕獲の頭数に上積みされるものであるが、第二種特定鳥獣管理計画（第5次愛媛県イノシシ適正管理計画）で定める年間捕獲目標頭数 33,000 頭の 1 %未満である。農作物被害を平成 5 年度のレベルに抑えるためには、県内全体で更なる捕獲の強化を図る必要がある。

4. 必須となる記録項目

（１）データの整備状況

ア）基礎となる記録項目の整備状況

項 目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	☒ 行政区域（都道府県・市町村）ごと ☒ 事業区域ごと ☒ 5 km メッシュ ☐ 1 km メッシュ ☐ 捕獲地点（緯度経度） ☐ 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	☒ 捕獲した個体の総数 ☒ 雌雄の別 ☒ 幼獣・成獣の別 ☐ その他捕獲した個体に関する情報（ ）	
③目撃数	☐ 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	☐ 銃猟：のべ作業人日数 ☒ わな猟：わな稼働日数 （わな稼働日数＝わな基数×稼働日数）	

イ）捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）についてチェック	
捕獲位置の地図	☒ 5 kmメッシュ地図 ☐ 1 kmメッシュ地図 ☐ 地点（緯度経度）地図 ☐ 捕獲位置の地図を作成できない	
CPUE の地図	☐ 5 kmメッシュ地図 ☐ 1 kmメッシュ地図 ☐ 地点（緯度経度）地図 ☒ CPUE の地図を作成できない	
SPUE の地図	☐ 5 kmメッシュ地図 ☐ 1 kmメッシュ地図 ☐ 地点（緯度経度）地図 ☒ SPUE の地図を作成できない	
概況図を作成する上での課題	特になし	

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数： ---人日

事前調査人日数概数： ---人日

出猟 (捕獲作業) 人日数： ---人日

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (巻き猟) のべ人日数	人日	人日	☐ 増加 ☐ 減少
捕獲努力量 (忍び猟) のべ人日数	人日	人日	☐ 増加 ☐ 減少

②わなによる捕獲

外業の人日数総数： ---人日

事前調査人日数概数： ---人日

出猟 (捕獲作業) 人日数： 87 人日

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日数)	2,608 基日	1,349 基日	☒ 増加 ☐ 減少

※効果的捕獲促進事業は含めていない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭	頭	☐ 増加 ☐ 減少
②目撃数	頭	頭	☐ 増加 ☐ 減少
③雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)			☐ 増加 ☐ 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)			☐ 増加 ☐ 減少

令和 6 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別 (銃器) の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数	CPUE	SPUE
☐ 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少
☐ 巻き狩り	頭	人日	頭/人日	頭/人日

			☐ 増加 ☐ 減少	☐ 増加 ☐ 減少
☐ 忍び猟	頭	人日	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少
☐ モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少
☐ 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少
☐ その他 ()	頭	人日	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少	頭/人日 ☐ 増加 ☐ 減少

②わなによる捕獲

項 目	令和 6 年 (事業年度の値)	令和 5 年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	20 頭	4 頭	☒ 増加 ☐ 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.6	1	☐ 増加 ☒ 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	0.1	0.06	☒ 増加 ☐ 減少

令和 6 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数	CPUE
☒ くくりわな	20 頭	2,608 基日	0.77 頭/100 基日 ☒ 増加 ☐ 減少
☐ 箱わな	頭	基日	頭/基日 ☐ 増加 ☐ 減少
☐ 囲いわな	頭	基日	頭/基日 ☐ 増加 ☐ 減少
☐ その他 (ICT くくりわな)	頭	基日	頭/基日 ☐ 増加 ☐ 減少

ウ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： -----

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： -----

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

捕獲記録のほか、尾を切り取り、捕獲場所を所管する県地方局・支局森林林業課（森林林業課駐在）で確認した。